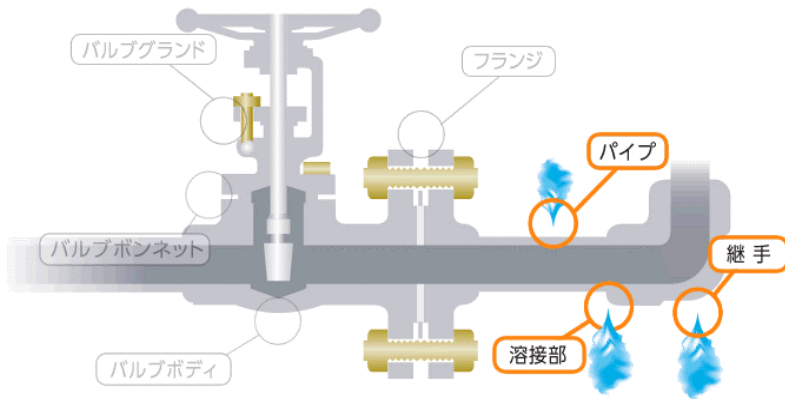


パイプ・継手・溶接部からの漏洩を プラントを稼働した状態をとめるには？



ボルトの増し締めで対応できるバルブグランドやフランジとは異なり、

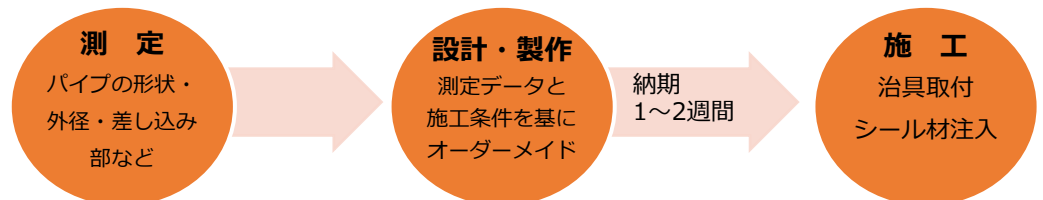
パイプでは高圧の蒸気によって配管周囲が削られて、漏れが段々拡大してしまうことも・・・

パイプのピンホールからの蒸気漏れを止めるには、ラインを停止してパイプを交換するのが一般的です。

ファーマナイトのボックス工法なら・・・

- ★ 様々な条件にも幅広く対応可能。
- ★ 設備停止にともなう、経済的ロスや納期遅れを回避できます。
- ★ 漏洩箇所を囲むように、二重管構造のボックスを取付けるので、安全に漏れをとめることができます。
- ★ 減肉箇所の破断などの予防保全としても有効です。

施工までの流れ



施工方法

Step 1)

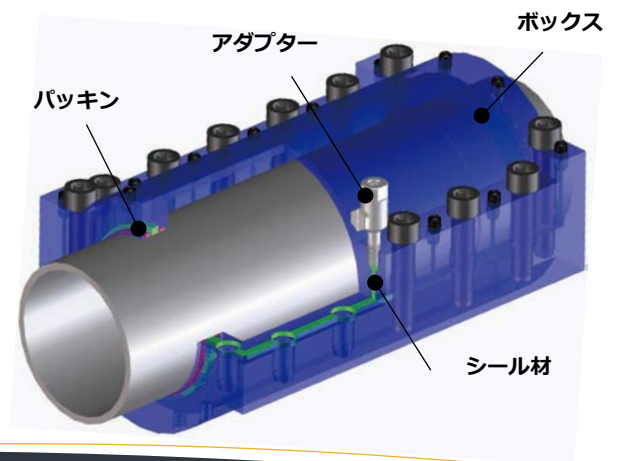
パイプの健全部にボックスを取り付けます。
ボックスは二重管構造になっているので、
パイプの漏洩箇所や腐食には力がかかりません。

Step 2)

予めボックスに加工してある貫通穴にアダプターを取付けて
シール材（右図：緑）を注入します。

Step 3)

ボックスの合わせ面に加工してある溝にシール材がいきわたり
漏れがとまったことを確認して注入器具を取外し、
閉止プラグを取付けて補修完了です。



お問い合わせ先

富士ファーマナイト株式会社 www.furmanite.co.jp

Tel : 044-948-8833 Fax : 044-777-5810

E-mail: technical_support@furmanite.co.jp

HP-20-11-18